

# 厚見学園（厚見小中学校）教育デザイン 2025

【岐阜市教育大綱～基本方針～】  
学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。

## 【厚見学園の教育目標】

**自分を生かし 人を生かして 共に生きる**

小学校の合言葉

中学校の合言葉

「むちゅうで あつたか たくましく」

「自立 貢献 共生」

## 【15歳までにつけたい力】

- 1. 自己理解・自己認識 5. 体力・健康管理能力
- 2. 決めたことをやり抜く力 6. コミュニケーション能力
- 3. 苦手なことも努力できる力 7. 一人で社会参加
- 4. 基礎的な学力 8. 気分転換の方法（ストレス対処法）

指導の重点  
⇒育てたい  
資質能力

### 未来につながる学び

⇒ 社会や世界と関わりながら学び続ける力

主な取組

- ① 基礎学力の向上
- ② 学びたいと思う授業づくり（研推）
- ③ 総合的な学習の充実（ユネスコスクール）

行動する社会と関わって学ぶ  
(中2・中3)

- 学ぶことの楽しさ、必要性を認識し、学び続けようとする意欲をもつ。
- 社会で生きていく上で必要な学力を身に付ける。
- 環境、人権・(平和)、仕事、防災、国際理解等について現状や課題を知り、自分の意見をもつと同時に、他者にそれを発信（プレゼンテーション等）し、課題解消に向け具体的に行動できる。

協働して社会や世界に貢献する  
(小5～中1)

- 各教科の学び方を身に付け、自己調整しながら積極的に授業に取り組む。
- 集団の中で意見や思いを自由に伝え合う。
- 新聞やネットの情報を積極的に学びに取り入れ、地域や社会の出来事に目を向ける。
- 環境問題や防災教育の基礎を学び、日常生活に活かす。
- 授業の復習や苦手克服など、自分で目的をもって工夫した家庭学習に取り組む。

生活する仲間よく元気な学び  
(小1～4)

- 学校での学び方、家庭での学び方の基本を身に付ける。
- 基礎的・基本的な学習内容を定着する。
- 落ち着いて学習する。
- 一人でも伸び伸びと表現できる。
- 地域やその環境、命や人権などに触れ、自分自身や日常生活との関連を感じる。

小学校でめざす姿  
育てたい力

**むちゅうで学ぶ子（夢中でわくわく学習づくり）**  
⇒ 自分から学び進める力  
⇒ あきらめずに最後まで取り組める力

今年度の  
重点指導・活動内容

### 1) 小中一貫教育の利点の強化

- ① 自尊感情・自己肯定感の高さ（非認知能力の高さ）
- ② 小から中への望ましい移行（中1への適度なステップ、期待感）
- ③ 規範意識の向上、落ち着いた生活・学習姿勢の継続
- ④ 安心してそれぞれの自分らしさを出せる温かい雰囲気づくり

### 2) 課題の解決 ⇒ 学力向上（個別最適な学びの推進）

- ① I C T 機器、ロイロノート等の学習支援ソフトの活用
- ② 教育的効果を高めるための小中連携の推進
- ③ 主体性や自己表現力を育む学習活動の工夫

### 豊かな体験活動

⇒ 誰とでも協働できるコミュニケーション能力

- ① コミュニケーション力を伸ばす活動・行事
- ② インクルーシブ教育の推進（人権感覚の醸成）
- ③ 地域に開かれた学校（双方向の交流推進）

### 自己肯定感とチャレンジ精神

⇒ 目標に向けてやり切る力

- ① 互いのよさを認め合う取組の充実
- ② 学校生活を楽しく豊かにする児童会生徒会活動
- ③ 日常活動の向上につながる係活動

### 健康な心身

⇒ 人生100年時代を支える体力と自己管理

- 互いのよさについて、その行動の価値や行動の裏にある思いを理解し伝えあう。
- 自分で決めた目標に継続的に取り組んだり仲間と共に決めたことをやり切ったりすることで自信や達成感をもつ。
- 好きなことや得意なこと、苦手なことなど、自分の個性や特性を正しく理解し、得意などころを伸ばす努力をし、その成果を明らかにする。

- 誰かのために役に立つ行動をする。（「ありがとう」と言われる活動・体験を重ねる）
- やるべきことや目の前の問題解決に向けて自己決定し最後までやり切ることで、自信や達成感につなぐ。
- 時計を見ながら見通しをもって行動する。
- あつたか仲間づくりを核とした児童会活動を推進する。

- 学校生活や社会生活の基本的なルールの意味を理解し、よりよく判断して行動する。
- 楽しい活動を創造し、協力し合って楽しむ。
- 自分で考えたり選択したりしながら活動する。
- 活動場所でチャイムを聞く習慣をつくる。

- 自分の体の状態や健康に興味関心をもち、健康づくりに関する基本的な知識と実践力を身に付ける（食育を含む）。
- 性に関する正しい知識等をもち、自他の体や命を大切にする。
- 困った時や悩んだ時の相談相手をもつ。
- 自分に合った気分転換の方法を身に付ける。（他者に迷惑をかけない形でのストレス解消法）
- 運動習慣など健康増進の取組をする。

- 自分の体の状態や健康に興味関心をもち、進んで体を動かしたり、早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムを身に付けたりする。
- 自分の体や命を大切にする。
- 日常生活の中で、うまくいかないときや困った時にSOSを発信する。
- 依存症等ゲームやSNSの負の側面を正しく知り、自分でコントロールする。

- 外で元気に遊び、早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムを身に付けようとする。
- 保護者と共に自分の命や体に関心をもち、健康づくりにつながる行動（歯磨き、外遊びなど）に自分から進んで取り組む。
- 困ったとき、身近にいる信頼できる大人に助けを求める。

### あつたかい子（あつたか仲間づくり）

⇒ 集団の中で力を発揮し、高め合う力  
⇒ 自分や仲間のよさが分かり、認め合える力

### たくましい子（たくましい生活づくり）

⇒ 基本的な生活習慣を確立し、自他の生活を向上していく力  
⇒ 自ら考え行動する力

### 3) 「自分を大切にする 他者を大切にする」心と行動を育てる

- ① 心の教育、命の尊厳教育等を通して、小学校では児童会活動を核として、対話を重視しながら「命を大切にすること、公正・公平な態度で接すること」ができるようにする。中学校では平和や『岐阜市の12の人権課題』を学び、考え方論を通して、望ましい社会のあり方について認識を深め、行動力を身につけ、自分の生き方につなぐ。
- ② 「ぎふMIRAS's」（リアルな人・もの・ことに直接関わりながら探究学習を進め、岐阜市への理解や愛着心を深める）の充実。

### 4) 情緒の安定を図り、授業や様々な活動を通して主体性を伸ばす

- ① 興味関心を広げ個々のよさが生きるよう、授業や生活の中での様々な活動の機会を設けどの子にも自己表出の機会を作る。
- ② 学び方（厚見スタンダード）、生活習慣（6つの目指す姿）の定着を図ると同時に、自己管理能力・自己決定能力を高める。
- ③ 教育相談的見地に立った児童生徒理解を深め、関係諸機関と連携したチーム支援を徹底する。
- ④ 心身の健康を育む健康教育・食育、危機回避や対応力を高める安全防災教育を推進する。